

CASE 06

鋼管杭根巻きコンクリート

工事内容：基礎ブロックに残存型枠(KCスタンドフォーム)を使用

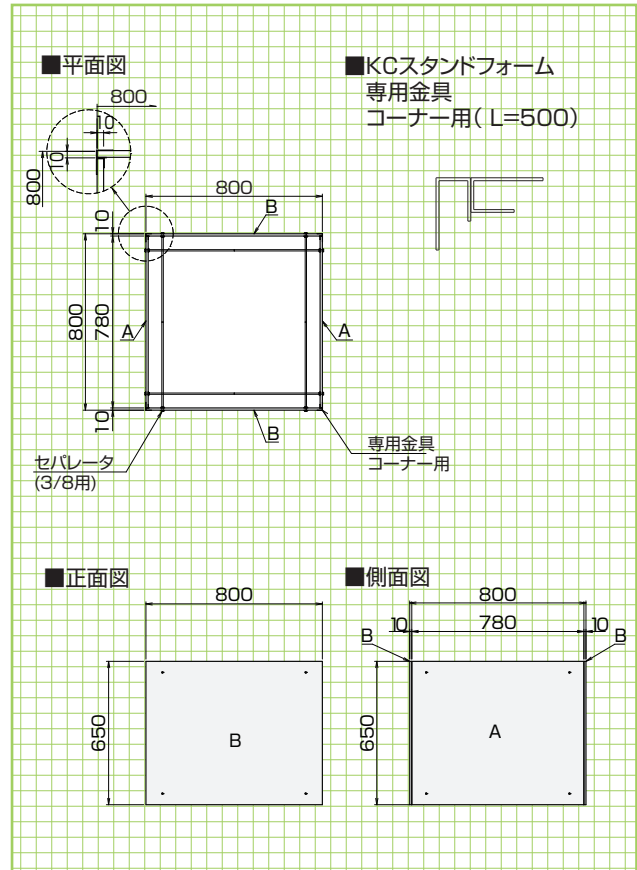
残存型枠の採用理由

- ・現場作業が夜間しか出来ずに現場打ちを少なくしたいとの相談を受け、対応させて頂きました。
- ・プレキャスト化での相談もありましたが、納期が間に合わず、ハーフプレキャストとしてKCスタンドフォームを提案。お客様の承認を頂き採用に至りました。

製品名：KCスタンドフォーム
 納入数：ホームの下部に800x800x650の基礎ブロック残存型枠として3基分利用
 担当営業所：西日本営業部



製品形状



KCスタンドフォーム特長

1. 抜群の付着力

コンクリート付着面にポリエステル・ビニロン繊維を配置。現場打ちコンクリートと強固に付着します。また、ガラス繊維の補強により、高い曲げ強度と耐衝撃性があります。

2. 耐摩耗性、耐中性化

特殊混和材を使用しているKCスタンドフォームは、表面が緻密で一般のコンクリートより耐摩耗性、耐中性化に優れています。

3. 施工性と加工の自由度

大きさを自由にカットできるメリットを活かし、専用の連結金具との併用で、現場加工での自由なコンクリートブロックが成型可能になります。高い場所への設置や、縦型での使用など通常の型枠工法では手間のかかる設置も、現場でのカットが可能のため自在に型枠が組めます。



注意

- 施工に不備があると、損傷などの原因となることもあります。不明な点は弊社または販売代理店にご相談ください。
- 特殊な条件で使用される場合には、事前に弊社の担当者にご相談の上、技術的な確認を行ってください。

インフラテック株式会社

本社

〒890-0062 鹿児島市与次郎2-7-25
 Tel.099(252)9911 Fax.099(259)4100
<http://www.infratec.co.jp/>